

# AGI 東アジア12カ国・地域経済動向

東アジア 12カ国・地域の経済動向を、主要統計のグラフとアジア成長研究所（AGI）の研究員による解説とともにお知らせいたします。（2021 年第 1 四半期）

## グラフの読み方

図 1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率 一国経済の基本的な経済動向を読む

- 実質 GDP 国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）は、国内で生み出された財・サービスの付加価値の総計である。GDP には名目値と実質値があり、そのうち実質 GDP の伸び率は経済成長を測る代表的な指数である。
- GDP デフレータ 名目 GDP を実質 GDP で除した値として計算される。その伸び率は、名目 GDP の価格上昇分を表し、インフレの程度を知ることができる。GDP デフレータのプラスの伸び率が高いほどインフレ傾向にあり、マイナスの伸び率が高いほどデフレ傾向にある。

図 2：貨幣供給量と国内信用の伸び率 政府の金融政策と景気の間を読む

- 貨幣供給量 経済全体に流通している貨幣の総量。通常、金融政策は中央銀行が貸出や公定歩合操作、債券売買や外為市場介入等を行うことによって実施される。金融政策により貨幣供給量が増加すれば、短期的には経済が拡大するが、長期的には貨幣価値が下がるので物価の上昇を招きやすい。M1 とは現金の流通額と預金（当座預金、普通預金等）を合わせたもので、M2 は M1 に定期預金、外貨預金等を合わせたものである。
- 国内信用 銀行部門の貸出等（信用）の総額。政府向け信用と民間向け信用に大別される。政府向け信用は主に銀行の国債保有残高、民間向け信用は主に企業向け貸出額にあたる。この伸び率が高ければ、国内市場に循環する資金が増加したことを示す。なお、一部の国では国内債権（Domestic Claims）を使用している。

図 3：消費者物価指数、株価指数、為替レート指数 インフレと景気動向を読む

- 消費者物価指数 消費者が購入する財・サービスの価格を加重平均したもの。インフレの程度を測る代表的な指数である。指数が上昇すればインフレ傾向にあり、下落すればデフレ傾向にある。
- 株価指数 株式市場の上場銘柄全体の値動きを表す指標である。景気（および人々の期待）の動向を知ることができる。指数の継続的な上昇は好況を、継続的な下降は不況を示唆する。
- 為替レート指数 自国通貨と米ドルとの交換レート（ドル／自国通貨）。指数の上昇は自国通貨高、下落は自国通貨安を示す。自国通貨高は輸入価格の下落により、輸入がしやすくなる一方、対外的に見て、輸出価格が上昇するので輸出が難しくなる。

図 4：輸出額と輸入額 対外経済部門の動向を読む

- 輸出額 輸出数量×輸出価格。輸出は外貨獲得の重要な手段である。
- 輸入額 輸入数量×輸入価格。資本財や中間財の輸入は国内の生産能力を増大させ、消費財の輸入は消費者の満足度を高める。



〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4 / TEL : 093-583-6202 / URL : <http://www.agi.or.jp>

# 日本の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

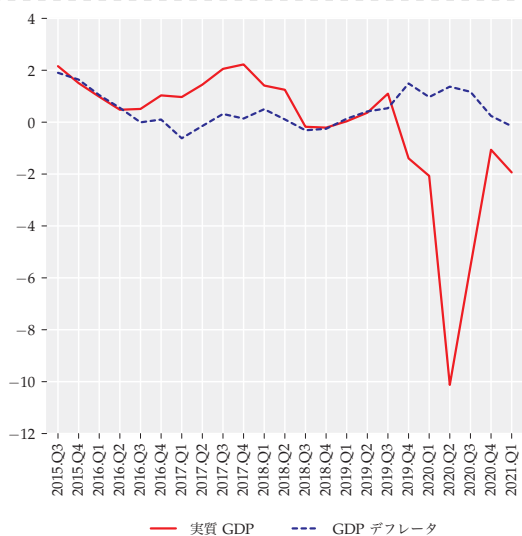


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

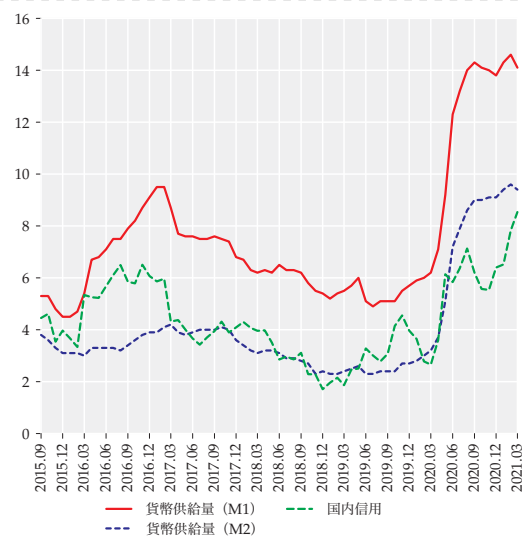


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

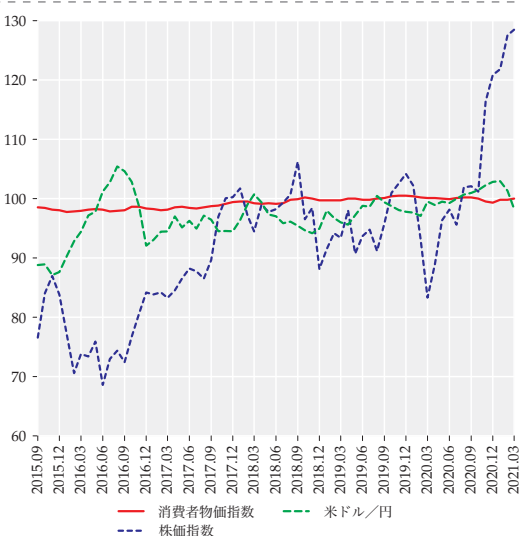
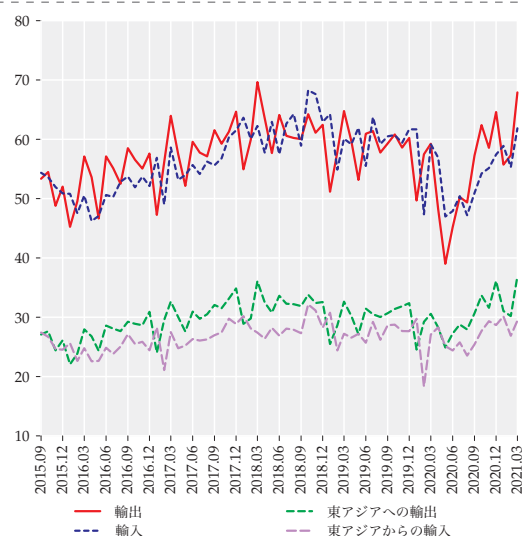


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



## 日本経済の動向 (2021年第1四半期)

2021年第1四半期の実質 GDP の伸び率は -1.94 % となり (前年同期比, 速報値), 前期の -1.06 % から減速した。これは 2020 年第1四半期と同程度の下落率であり, 第1四半期としては 2年連続でのマイナス成長となった。新型コロナウイルス感染拡大の影響により, 消費や設備投資の低迷が続いている。第1四半期の民間最終消費支出は -2.96 % となり前期 (-2.46 %) から減速し, 民間企業設備もが -5.34 % と前期 (-3.13 %) よりも減速している。政府最終消費は 2.83 % 増加したものの前期 (4.76 %) よりも減速している。一方で, 財貨・サービス輸出が 0.96 % 増となったが, これは 9 四半期ぶりの増加であった (いずれも前年同期比)。3 度目となる緊急事態宣言のなか, 医療従事者に続き高齢者への新型コロナワクチン接種が開始されたが, 集団免疫をいつ獲得できるかは不透明である。長引く消費低迷に, 飲食・宿泊業などを中心として多くの業種が苦境に立たされているが, 政府はポストコロナへの道筋を示せずにいる。 (田村一軌)

## 中国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

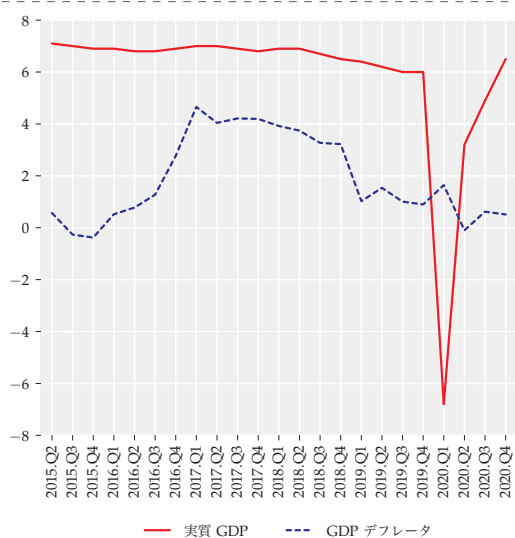


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

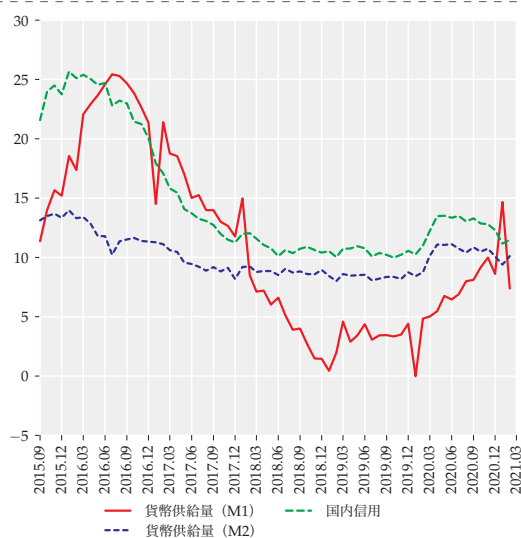


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

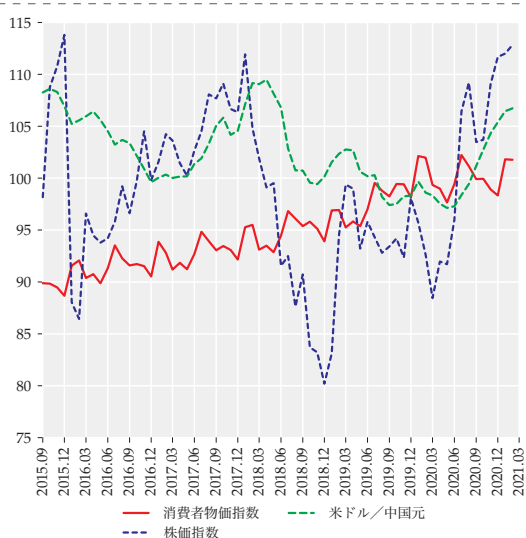
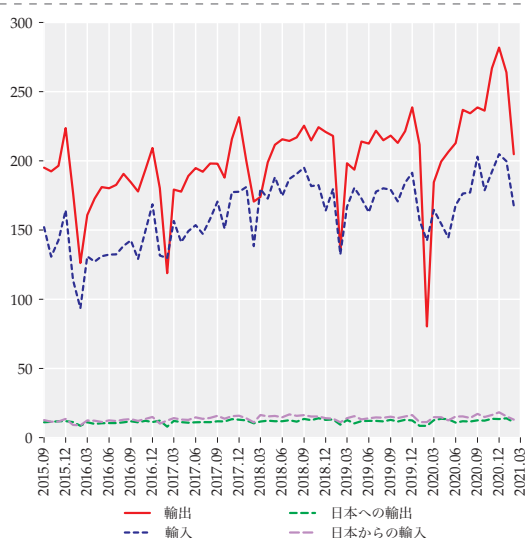


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 中国経済の動向 (2021年第1四半期)

中国では、昨年3月以降新型コロナウイルスの感染拡大が止められ、その後経済が徐々に回復し、2020年通年の実質GDP成長率は2.3%となった。2021年に入ってから、「V字回復」のトレンドが一層鮮明になった。国家統計局の発表によると、第1四半期の実質GDPは前年同期比で18.3%も増加した。産業別の成長率をみると、第1次産業は8.1%、第2次産業は24.4%、第3次産業は15.6%になっている。一方、第1四半期の実質GDP成長率に対する支出面の構成別貢献率をみると、国内最終消費は63.4%、資本形成は24.5%、純輸出は12.1%になっている。中国政府は、第14期5カ年計画(2021~2025年)において、国内の経済循環を主体として、国内・国際の双(ダブル)循環が相互に促進し合う新たな発展パターンの形成を目標としている。従来の輸出主導の成長モデルを若干軌道修正しているが、第1四半期のGDP統計にはこうした戦略調整の効果が表れ始めている。(孫 暁男, 戴 二彪)

## 香港の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

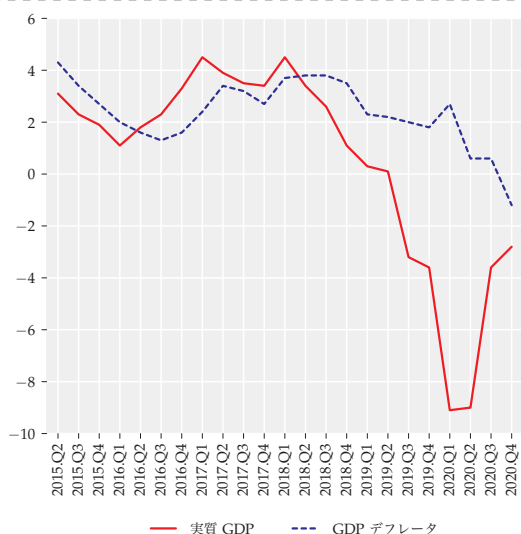


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

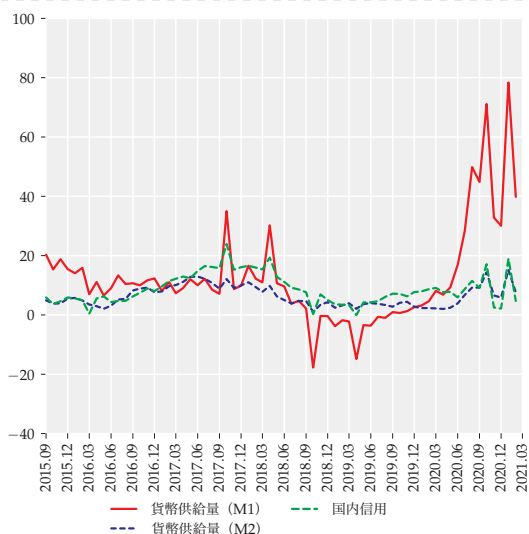


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

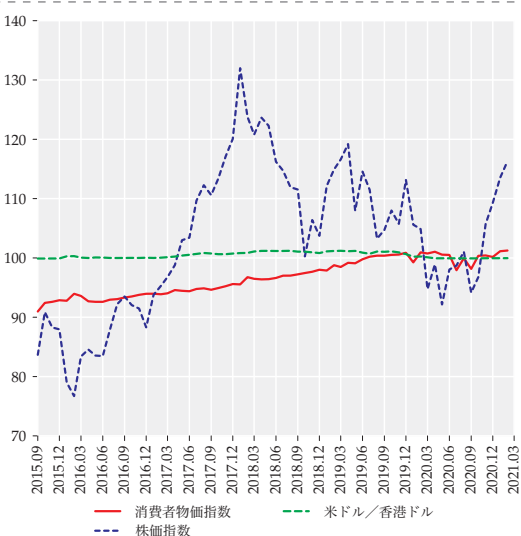


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 香港経済の動向 (2021年第1四半期)

香港特別行政区政府の発表によると、2021年第1四半期の対前年同期比実質 GDP 成長率は7.9%と大きく改善した。2020年第3四半期の同-3.6%と第4四半期の同-2.8%に続き、文字通り「V字回復」の形になっている。中国・米国・欧州など世界主要市場の強い経済回復につれて、2021年第1半期の香港商品総輸出（地場輸出と中継輸出の合計）は対前年同期比30.2%増となり、2020年第3四半期の3.9%増と第4四半期の5.5%増に続き、一層強く回復した。ただし、波及効果の大きいインバウンド観光が依然停止状態に陥っており、2021年第1四半期のサービス輸出全体は、若干持ち直したものの、対前年同期比8.1%減となっている。また、現地のコロナ第4波の影響で、第1四半期の失業率は6.8%に上昇しており、個人消費は1.5%の微増に止まった。世界全体のコロナ流行と米中対立など深刻な問題は依然として緩和されていないため、香港政府は、2021年通年の経済成長率を3.5~5.5%と予測している。（孫 暁男, 戴 二彪）

## 韓国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

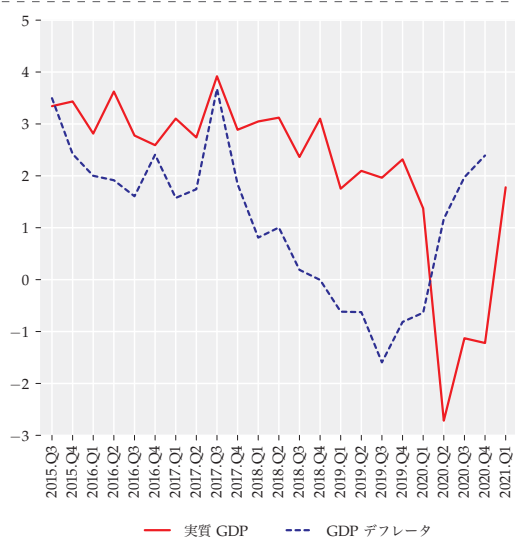


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

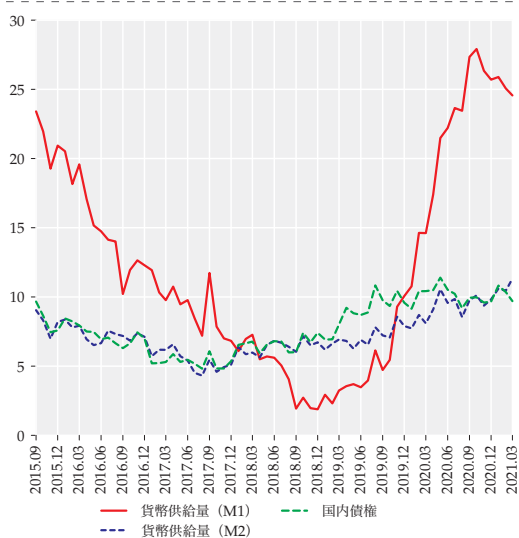
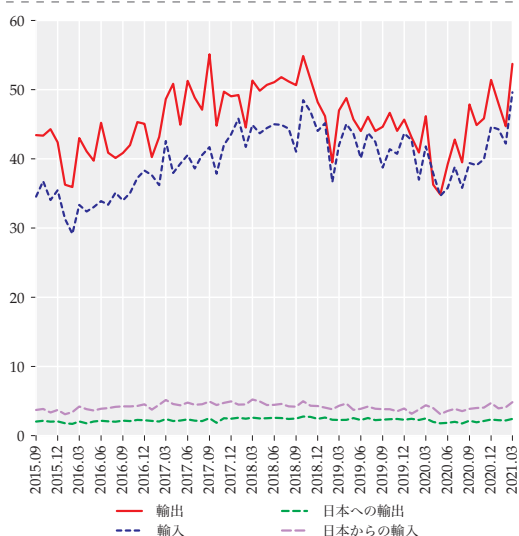


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 韓国経済の動向 (2021年第1四半期)

韓国の2021年第1四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比)は1.78%となり、前期の-1.22%からプラス成長に転じた。3月末の株価指数は3,061.42、1米ドル=1,131.02ウォンであった。これは、昨年末と比較して、株価は上昇を続け、ウォンが若干弱含みであることを示す(2,873.47, 1,095.13ウォン)。中国経済をはじめとする世界経済の回復基調から、輸出が12.49%と前期の4.23%から大きくプラス成長となった。また、輸入も前期の-1.71%から12.02%と大きくプラスに転じた。政策金利を段階的に過去最低の0.50%に引き下げ、金融緩和を図った結果、M1の伸びが20%を超えるようになり、今期も継続中である。政府は、新型コロナウイルスの影響の反動として、3%前後の成長を見込んでいたが、さらに強気の発言も出てきている。一方で、4月初めに実施されたソウルおよびプサン市長選で与党が惨敗し、ワクチンの確保も遅れていることから、政治経済ともに楽観視できる状況ではない。(坂本 博)

## 台湾の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

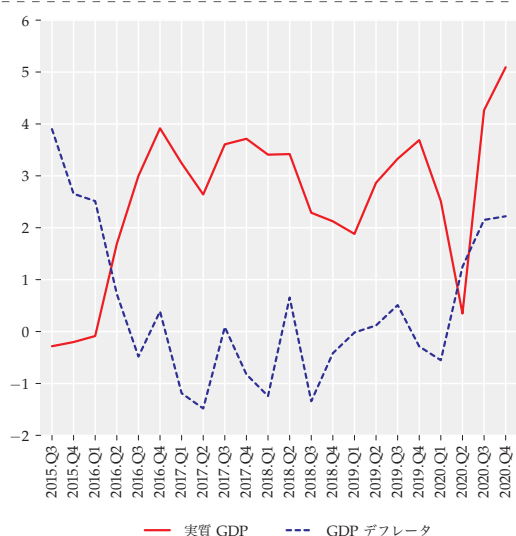


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

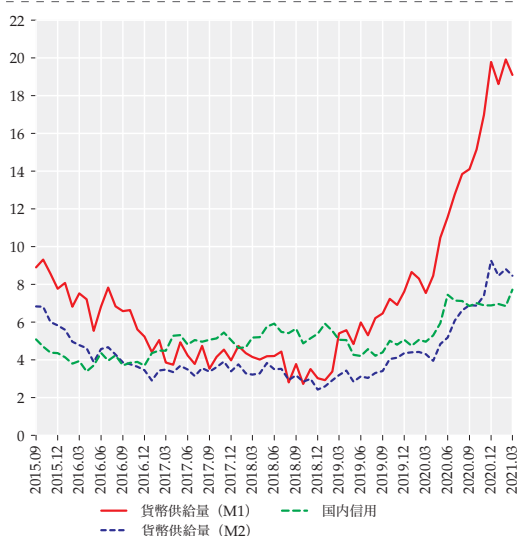


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

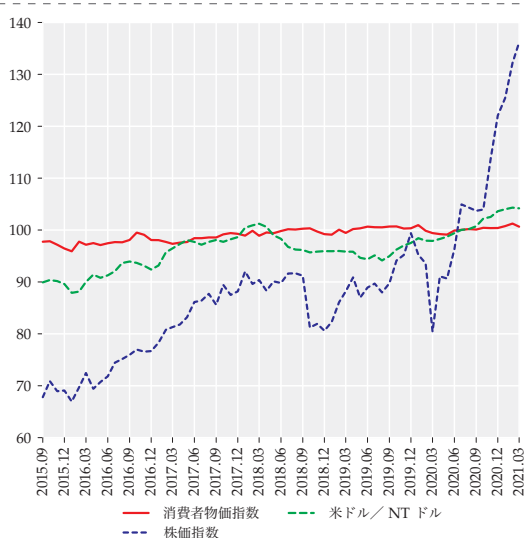
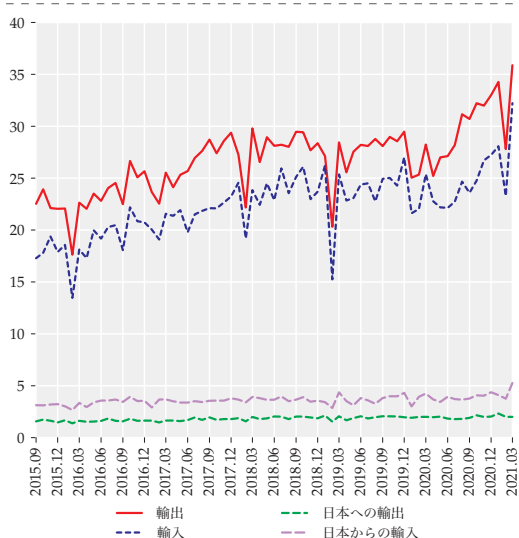


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### 台湾経済の動向 (2021年第1四半期)

台湾の経済成長率は、2020年第1～第4四半期の数値は各々、2.51%、0.35%、4.26%、5.09%であり、2021年第1四半期には8.16%と高い伸び率を示している（主計総處2021年4月30日付資料）。国際貿易では、2021年1～4月期の輸出額は1,329億米ドル、輸入額は1,124億米ドルで、対前年同期比は各々、28.0%と22.4%であった。主要相手国・地域別に輸出の伸び率をみると、中国・香港34.7%、ASEAN28.7%、米国26.8%、欧州21.1%、日本12.4%と全体的に高い数値を示している。良好な経済パフォーマンスの背景の1つは新型コロナ対策の成功であったが、5月上旬より感染者数が急増し、6月3日時点で累積感染者数は9,974人となっている。航空会社のパイロットに入境後の隔離期間を3日間に短縮する例外措置をとったことが、ほころびとなった。台湾政府は、海外からのワクチン獲得に加え、国産ワクチンの緊急承認により7月中の投入を目指している。（岸本千佳司）



## インドネシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

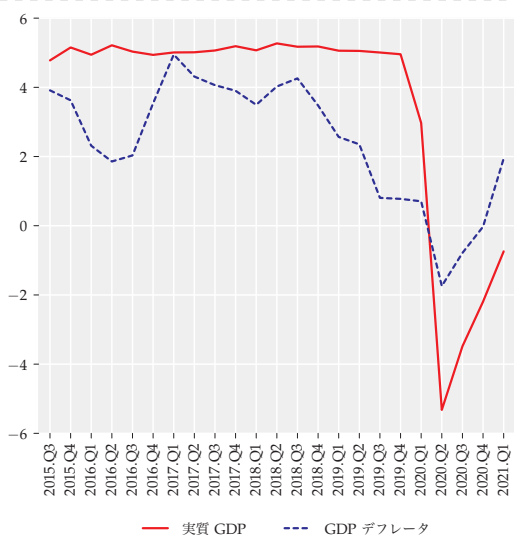


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

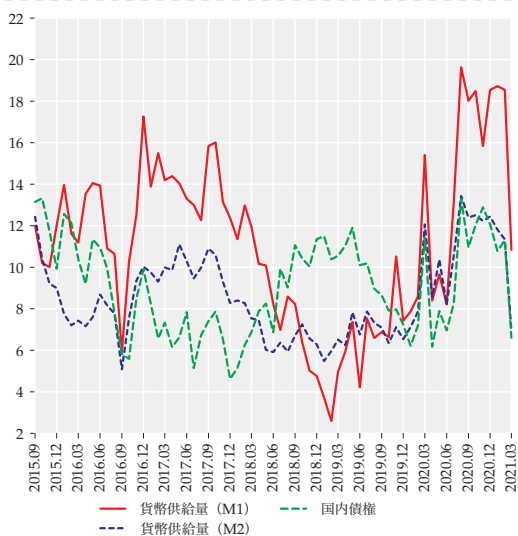


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

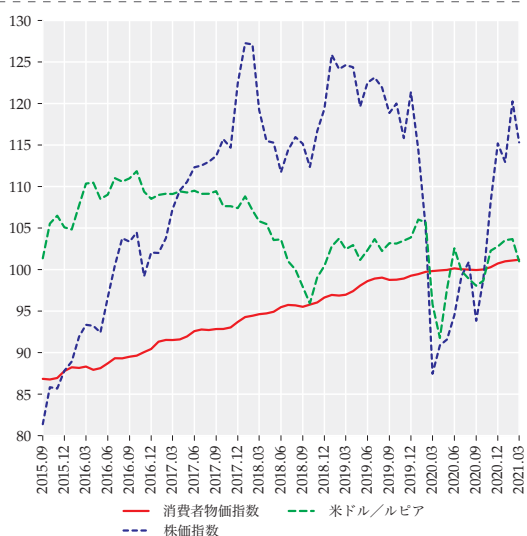
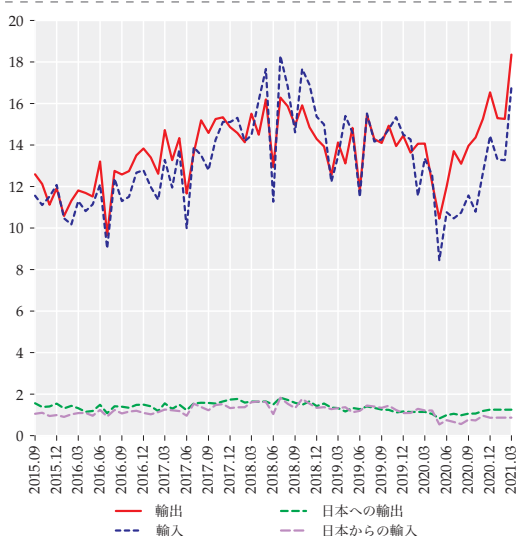


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### インドネシア経済の動向 (2021年第1四半期)

インドネシアの2021年第1四半期における実質 GDP の伸び率は(前年同期比, 以下同じ),  $-0.74\%$  となり, 前期の  $-2.19\%$  よりは回復したものの, マイナス成長が続いている。内需よりも外需が回復しており, 輸出は前期の  $6.5\%$  から  $17.1\%$ , 輸入は前期の  $-15.1\%$  から  $10.7\%$  となっている。昨年末には1米ドル=約14,200ルピアであった為替は, その後も14,000ルピア台を推移している。一方, 昨年末には5,979.07ポイントと急上昇した株価も, 若干変動しながら同水準で推移している。また, 金融緩和により, 金融指標がいずれも  $10\%$  を超えるようになり, 2021年2月18日には政策金利を  $3.75\%$  から  $3.50\%$  に引き下げたにもかかわらず, 3月の金融指標は伸びが鈍化している。新型コロナウイルスの新規感染者は, 1月をピークに頭打ちとなっているが, ワクチンの接種が進んでおらず, 感染再拡大の可能性は高い。経済の本格的な回復には時間がかかる模様だ。

(坂本 博)

## マレーシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

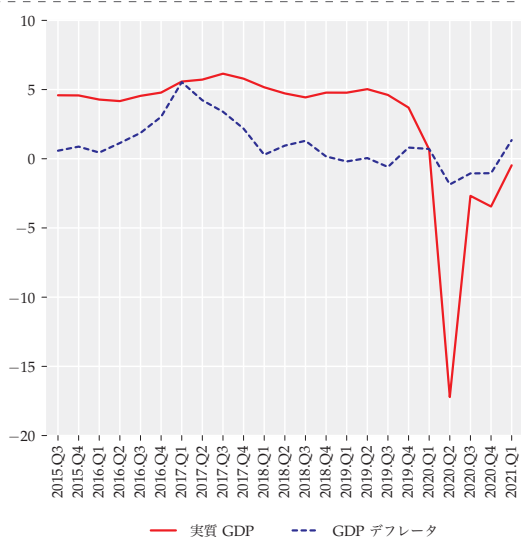


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

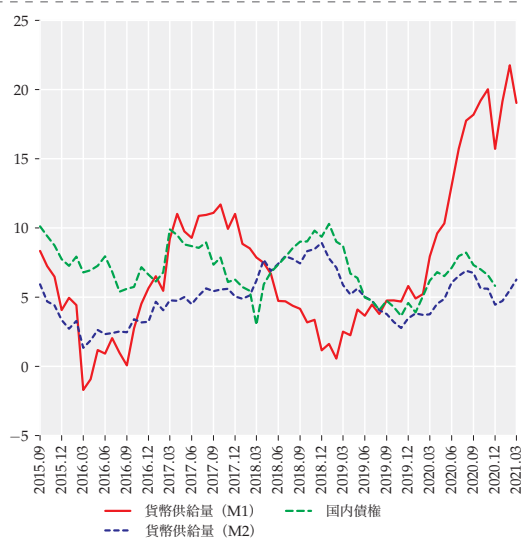
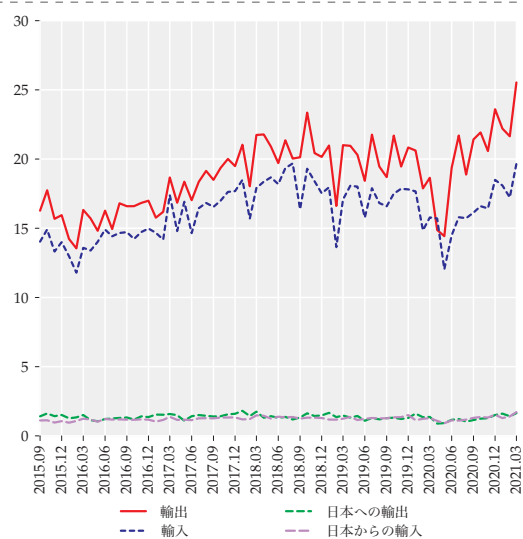


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### マレーシア経済の動向 (2021年第1四半期)

マレーシアの2021年第1四半期の実質 GDP の伸び率は(前年同期比, 以下同じ),  $-0.47\%$  となり, 前期の  $-3.45\%$  からは回復したものの, 4期連続のマイナス成長となっている。需要側では, GDP の半分以上を占める民間消費が前期の  $-3.5\%$  から  $-1.5\%$ , 政府消費も前期の  $2.4\%$  から  $5.9\%$ , 総固定資本形成も前期の  $-11.8\%$  から  $-3.3\%$  といずれも回復したが, 十分とはいえない。一方で, 外的環境の好転から, 外需は改善されつつあり, 米ドルベースの貿易額は, 輸出が前期の  $6.63\%$  から  $21.41\%$ , 輸入は前期の  $-3.07\%$  から  $13.82\%$  と急回復し, 過去最高水準となった。また, 度重なる金融緩和により(政策金利は  $1.75\%$  を維持), M1 が  $20\%$  近くまで伸びるようになったが, リンギおよび株価は2018年以降, 低下傾向である。なお, ワクチン接種が遅れている上に, 直近の新型コロナウイルスの感染状況が悪化したため, 6月1日より全土でロックダウン(都市封鎖)に踏み切った。(坂本 博)



## フィリピンの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

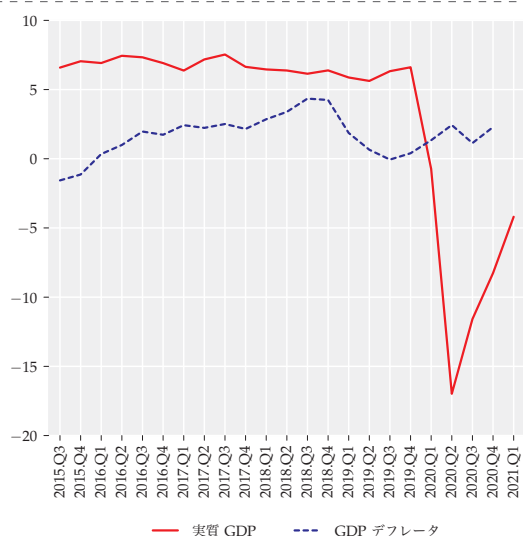


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

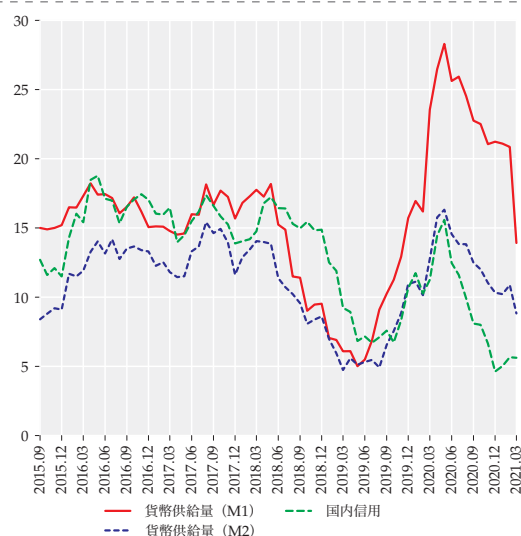


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

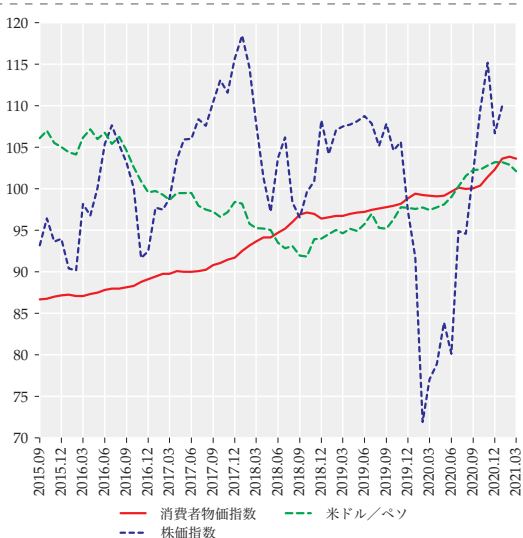
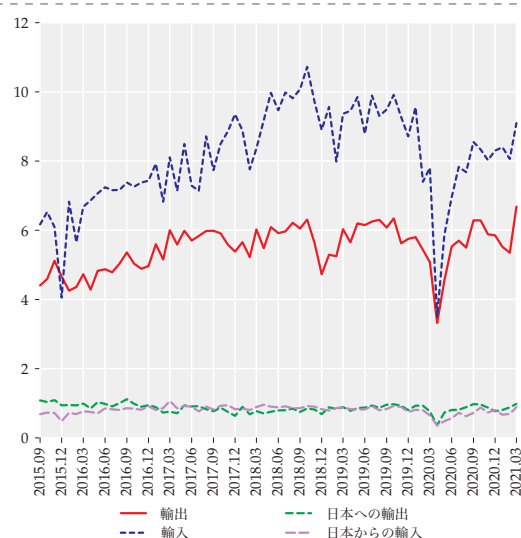


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### フィリピン経済の動向 (2021年第1四半期)

2020年のフィリピンの実質 GDP 伸び率は、第1～第4四半期の各々で -0.71%、-16.9%、-11.4%、-8.3%、通年では -9.5% とアジア通貨危機以来 22 年ぶりのマイナス成長となった。第4四半期の実質 GDP 需要項目別では、前年同期比の伸び率で、政府最終消費支出が 4.4% (前期は 5.8%) と唯一プラス成長であった以外は、民間最終消費支出は -7.2% (前期は -9.2%)、総固定資本形成は -28.6% (前期は -37.1%)、財・サービスの輸出は -10.5% (前期は -14.4%)、同輸入は -18.8% (前期は -21.5%) と、第3四半期よりは若干の改善がみられたものの依然厳しい状況である。ASEAN 主要 5カ国中最も回復が遅れている。主な原因は、非常に厳格なレベルの活動制限措置が長期化し個人消費が低迷したことである。国家経済開発庁は 2021 年の成長率目標を 6.5～7.5% 増としたが、コロナ・ワクチンの調達・接種が予定通りいかどうかといった不安材料がある。

(岸本千佳司)

## シンガポールの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

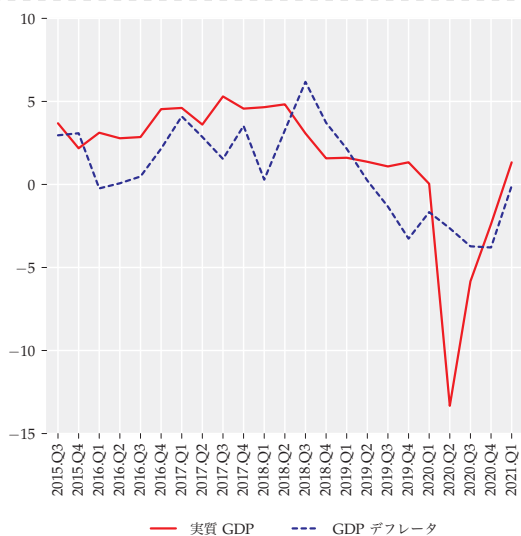


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

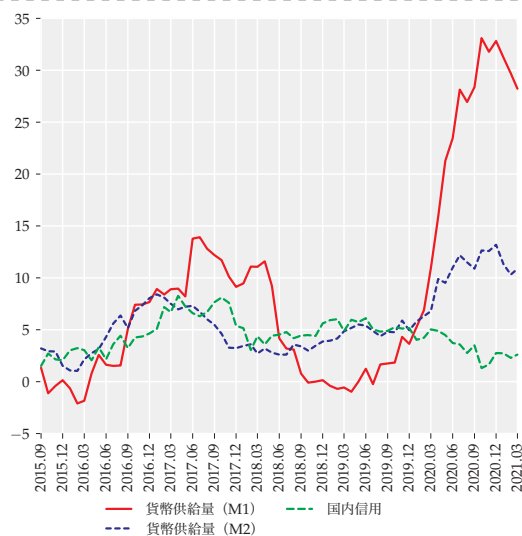
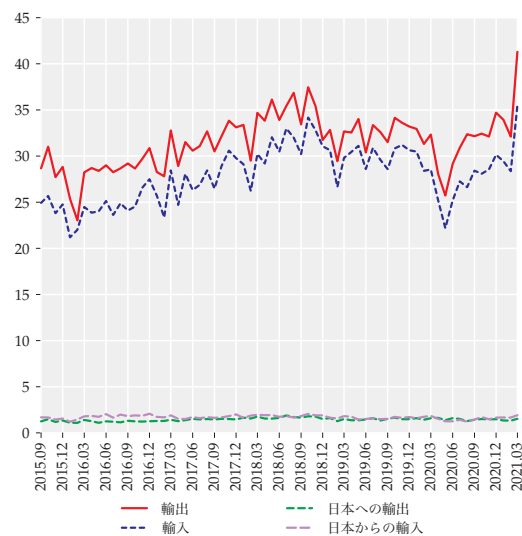


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### シンガポール経済の動向 (2021年第1四半期)

2021年第1四半期の実質 GDP の伸び率は前年同期比で 1.33 % となり、4 四半期ぶりのプラス成長を記録した。生産側からみると、製造業が前期 (10.28 %) に引き続き 10.70 % と好調だったほか、GDP の 6 割以上を占めるサービス業も前期の -4.68 % から -0.50 % へと改善している。特に、卸売業では、前期の -5.00 % から 1.80 % となりげ減少から増加に転じた。また輸出額は 11.13 %、輸入額は 6.74 % の増加となり、いずれも 4 四半期ぶりの増加となった。社会経済活動を制限する「サーキットブレーカー」は段階的に解除されていたが、感染再拡大を受けて 5 月から規制レベルが再び引き上げられた。貿易産業省 (MTI) は、世界経済が回復基調にあり、輸出向け製造業を中心とした外需産業の経済回復が期待できるものの、旅行業や接客業などではコロナ前の水準を下回る見込みだとして、2021 年通年の実質 GDP 成長率予測を、前年比 4.0~6.0 % に据え置いている。

(田村一軌)

## タイの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

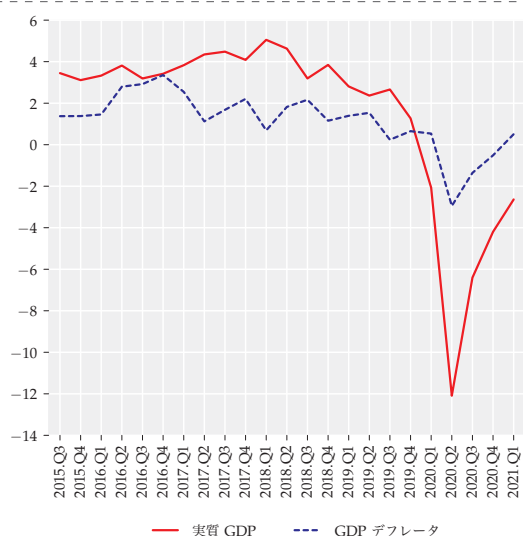


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率  
(前年同月比, %)

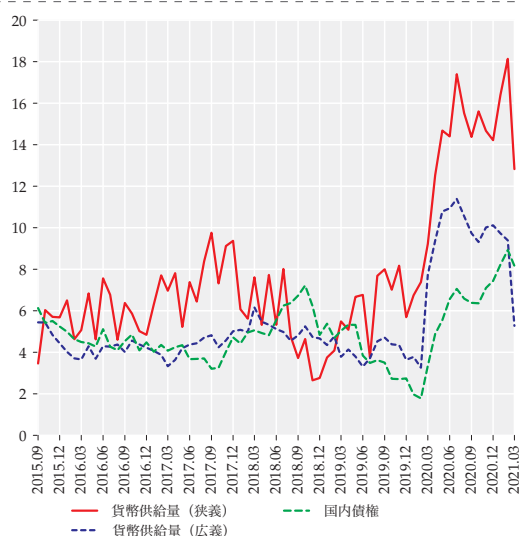


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

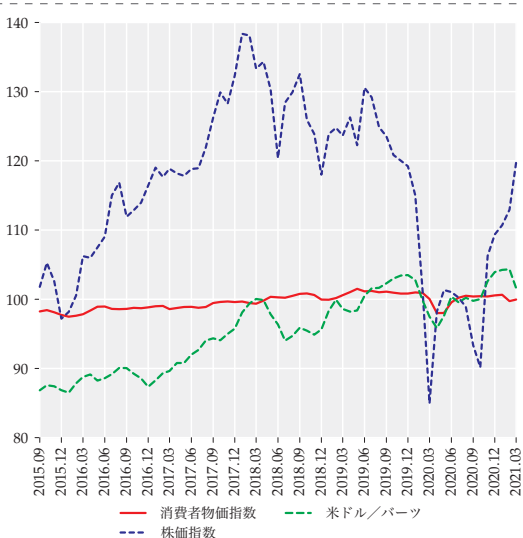
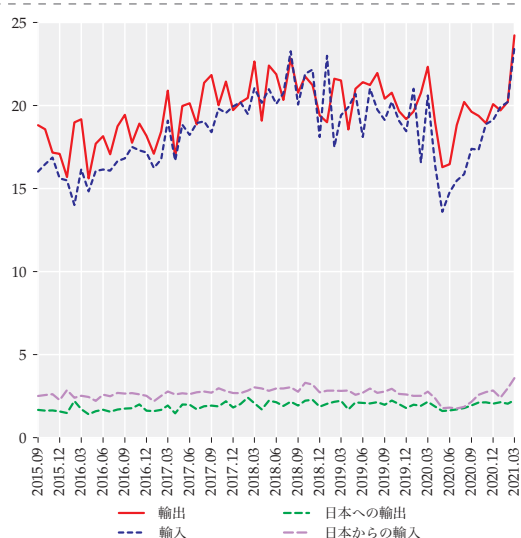


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### タイ経済の動向 (2021年第1四半期)

2021年第1四半期の実質 GDP 伸び率は前年同期比で -2.64 % となり、前期の -4.20 % から回復したものの、5 四半期連続でのマイナス成長となった。生産側からみると、GDP の 3 割を占める工業部門が前期の -4.72 % から -0.58 % へと、GDP の 6 割を占めるサービス部門が前期の -5.93 % から -4.24 % へと、それぞれ徐々に改善している。支出側から見ると、GDP の 2 分の 1 を占める財輸出が前期の -1.46 % から 3.22 % へとプラスに転じ大きく回復した。しかし、同じく GDP の 2 分の 1 を占める民間最終消費支出が前期の 0.92 % から -0.54 % へと再びマイナスに転じた。また、これまで GDP の 2 割弱を占め経済を下支えしてきたサービス輸出は前年同期比 -63.52 % と大きく減少しており、対 GDP 比率も 5 % を下回った。国家経済社会開発委員会 (NESDC) は、世界経済と国際貿易の回復、政府の経済刺激政策が見込まれるとしながら、2021 年の実質 GDP 成長率の予測値を、従前の 2.5~3.5 % から 1.5~2.5 % へと下方修正した。(田村一軌)

## ベトナムの経済指標

図1：実質 GDP の伸び率

(前年同期比, %)

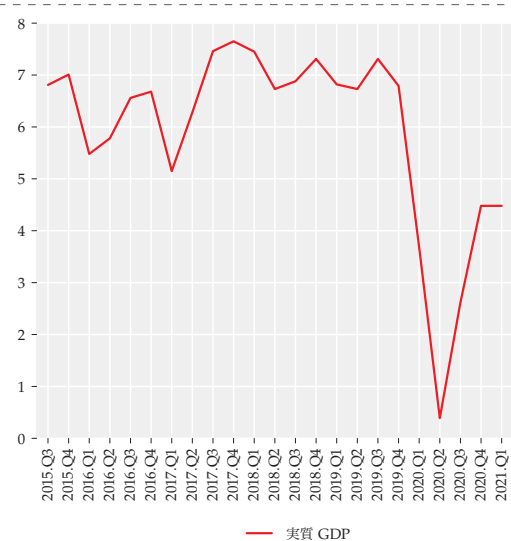


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率

(前年同月比, %)

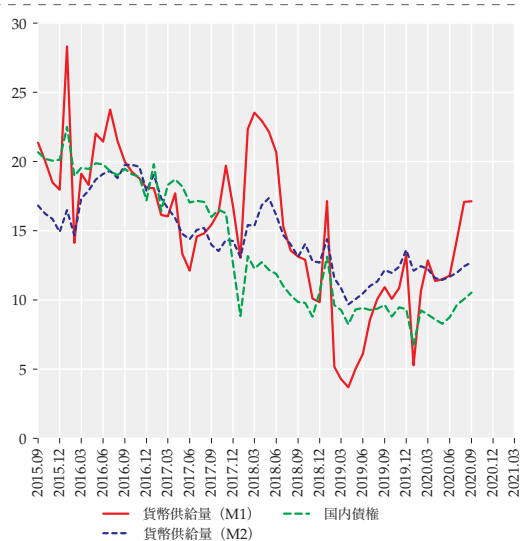


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数

(2020年=100)

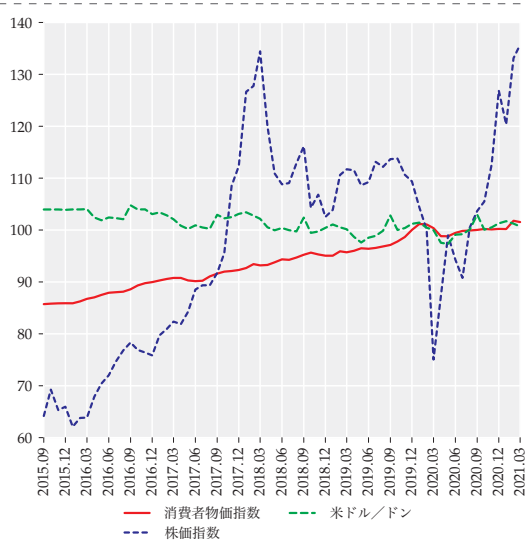
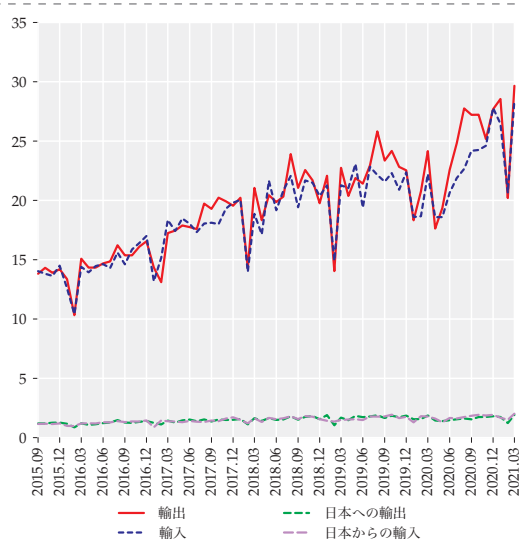


図4：輸出額と輸入額

(10億米ドル)



### ベトナム経済の動向 (2021年第1四半期)

2021年第1四半期の実質 GDP 成長率は4.48%であった。前期と横ばいとなったが、アジア諸国の中では数少ない高成長である。部門別の成長率をみると、GDPの3分の1を占める鉱工業・建設業は6.30%（前期は5.60%）であった。特に加工・製造業が9.45%と経済成長の原動力となった。GDPの4割を占めるサービス業は3.34%（同4.29%）であった。卸売・小売業は前年比6.45%（同5.53%）増、金融・銀行・保険業は7.35%（同6.87%）増となった。貿易も好調で、第1四半期の輸出入額はそれぞれ前年同期比で23.98%増、27.08%増であった。また、貿易黒字を継続している。株価指数は2020年3月以来上昇傾向を続けており、3月の株価指数は1,200ポイントを超え過去最高値を更新した。物価上昇率は2020年12月以降2%を切る低水準が続いている。これまで新型コロナウイルスの感染者数を低く抑えることに成功していたが、5月に入って感染者が急増しており、社会経済への影響が懸念されている。（田村一軌）

## インドの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率  
(前年同期比, %)

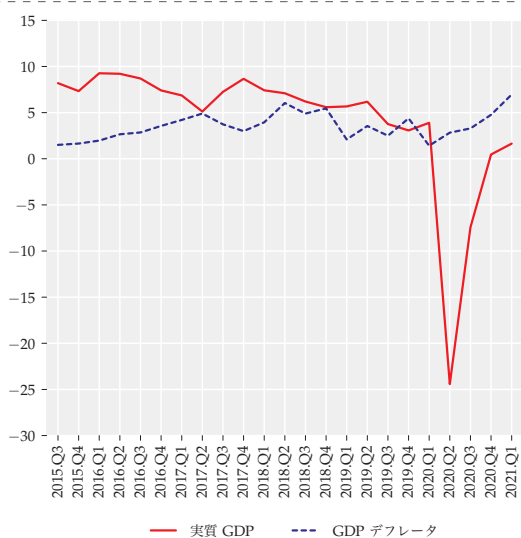


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率  
(前年同月比, %)

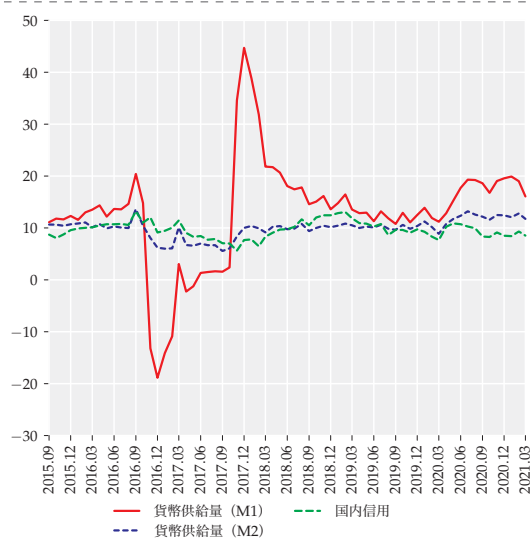


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数  
(2020年=100)

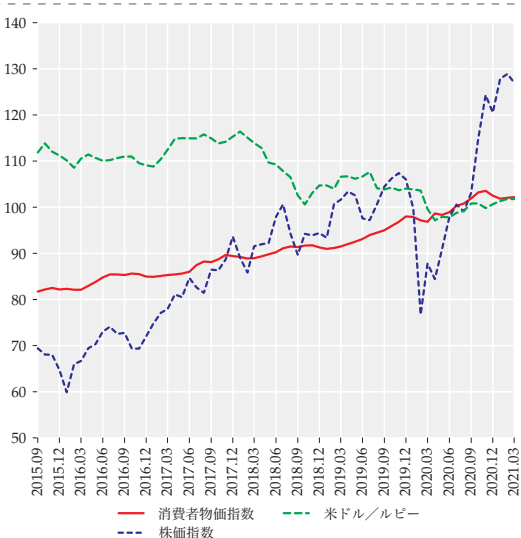
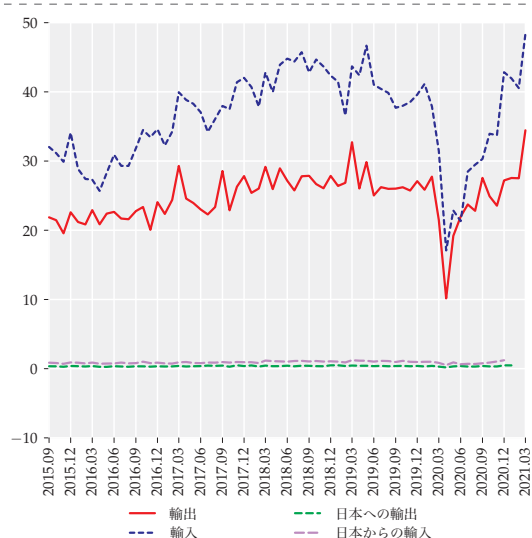


図4：輸出額と輸入額  
(10億米ドル)



### インド経済の動向 (2021年第1四半期)

2021年第1四半期の成長率は1.6%であった。2020年度のGDP成長率は、2019年度の4.0%から-7.3%に落ち込んだ。この低い成長率は、新型コロナウイルス対策としてパンデミックを封じ込めるために2020年3月から行われた長い期間のロックダウンと、その後の回復の遅れによる。第1四半期のセクター別の成長率をみると、建設セクターの成長率が最も高い14.5%であった。一方で、鉱業・採石業セクターの成長率が最も低い-5.7%であった。行政・防衛・他サービスセクターは2.3%増加し、前期の-2.2%から改善した。2021年第2四半期の成長率は、新型コロナウイルスの第2波の深刻さとロックダウンの影響のため、引き続き低くなるが見込まれる。専門家によると、今後のインドの経済成長の見通しは依然として非常に不確実であり、2020年度と同様に2021年度も成長予測の定期的な修正が続く可能性がある。

(プラモッド・クマール・スール)

## 図に関するデータの出所および注

### 日本：

- 図 1 内閣府経済社会総合研究所 (<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>)
- 図 2 日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 3 消費者物価指数：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html>)；株価指数：日本経済新聞社，日経平均プロフィール (<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/profile?idx=nk225>)；為替レート指数：日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 4 財務省 (<https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>)；東アジアは中国，香港，韓国，台湾，インドネシア，マレーシア，フィリピン，シンガポール，タイ，ベトナムの合計

### 中国：

- 図 1 China, National Bureau of Statistics, *National Data (Quarterly)* (<http://data.stats.gov.cn/english/easyquery.htm?cn=B01>)
- 図 2, 図 3 China, Statistics and Analysis Department, The People's Bank of China (<http://www.pbc.gov.cn/diaochatongjisi/116219/index.html>)
- 図 3 消費者物価指数：China, National Bureau of Statistics, *National Data (Monthly)* (<http://data.stats.gov.cn/english/easyquery.htm?cn=A01>)
- 図 4 China, General Administration of Customs, *Statistics / Monthly Bulletin* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/monthly.html>)

### 香港：

- 図 1, 図 4 Hong Kong, Census and Statistics Department (<https://www.censtatd.gov.hk/en/>)
- 図 2, 図 3 Hong Kong, Monetary Authority, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.hkma.gov.hk/eng/market-data-and-statistics/monthly-statistical-bulletin>)

### 韓国：

- 図 1, 図 2, 図 3, 図 4 Korea, Bank of Korea (<https://ecos.bok.or.kr>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EKS11/history>)

### 台湾：

- 図 1 Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/ct.asp?xItem=37408&CtNode=5347&mp=5>)
- 図 2 Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-511-2069-A8BEF-2.html>)
- 図 3 消費者物価指数：Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://statdb.dgbas.gov.tw/pxweb/dialog/statfile1L.asp>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5ETWII/history>)；為替レート指数：Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-480-58819-C8475-2.html>)
- 図 4 Republic of China, Customs Administration, Ministry of Finance, *CPT Single Window, Statistical Database Query* (<https://portal.sw.nat.gov.tw/APGA/GA30E>)

### インドネシア：

- 図 1, 図 4 Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id>)
- 図 2 Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EJKSE/history>)；消費者物価指数：Indonesia, Statistics Indonesia (<https://www.bps.go.id/subject/3/inflasi.html>)；為替レート：Indonesia, Bank Indonesia (<https://www.bi.go.id/en/statistik/informasi-kurs>)

### マレーシア：

- 図 1 Bank Negara Malaysia, *National Summary Data Page for Malaysia* (<https://www.bnm.gov.my/national-summary-data-page-for-malaysia>)
- 図 2, 図 3 Bank Negara Malaysia, *Rates & Statistics* (<https://www.bnm.gov.my/rates-statistics>)
- 図 2 国内債権：International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図 3 株価指数：Bloomberg (<https://www.bloomberg.co.jp/quote/FBMKLCI:IND>)
- 図 4 Malaysia, Department of Statistics, *Malaysia External Trade Statistics* (<https://metsonline.dosm.gov.my/>)



#### フィリピン：

- 図1 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Real Sector Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/RealSectorAccounts.aspx>)
- 図2 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Financial System Accounts* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Financial%20System%20Accounts.aspx?TabId=3>)
- 図3 消費者物価指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Prices* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Prices.aspx?TabId=1>)；為替レート指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – External Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/External.aspx?TabId=9>)；株価指数：Yahoo Finance (<https://finance.yahoo.com/quote/PSEI.PS/history>)
- 図4 Philippines, Philippine Statistics Authority, *Foreign Trade* (<https://psa.gov.ph/statistics/foreign-trade>)

#### シンガポール：

- 図1 Singapore, Department of Statistics (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/national-accounts>)
- 図2 Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Money-and-Banking.aspx>)
- 図3 消費者物価指数：Singapore, Department of Statistic, (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/prices-and-price-indices>)；株価指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Financial-Markets.aspx>)；為替レート指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Exchange Rates* (<https://www.mas.gov.sg/statistics/exchange-rates>)
- 図4 Singapore, Department of Statistic (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/trade-and-investment/merchandise-trade>)

#### タイ：

- 図1 Thailand, National Economic and Social Development Council (<https://www.nesdc.go.th/nesdb-en/main.php?filename=nationalaccount>)
- 図2 Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/EconomicAndFinancial/Pages/StatMFSSurvey.aspx>)
- 図3 消費者物価指数：Thailand, Ministry of Commerce, Bureau of Trade and Economic Indices ([http://www.price.moc.go.th/en/home\\_en](http://www.price.moc.go.th/en/home_en))；株価指数：Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/FinancialMarkets/CapitalMarket/Pages/StatCapitalMarket.aspx>)；為替レート指数：Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/FinancialMarkets/ExchangeRate/Pages/StatExchangeRate.aspx>)
- 図4 Thailand, Bank of Thailand (<https://www.bot.or.th/English/Statistics/EconomicAndFinancial/Pages/StatInternationalTrade.aspx>)

#### ベトナム：

- 図1 Vietnam, General Statistics Office, *National Accounts* (<https://www.gso.gov.vn/en/national-accounts/>)
- 図2 International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図3 2017年3月までの消費者物価指数および為替レート：International Monetary Fund, *International Financial Statistics, September 2017 CD-ROM*；それ以降の消費者物価指数および為替レート：Vietnam, General Statistics Office, *Consumer price index archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/cpi/>)；株価指数：Fusion Media, *Investing.com* (<https://www.investing.com/indices/vn-historical-data>)
- 図4 2017年3月まで：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics, September 2017 CD-ROM*；それ以降：Vietnam, General Statistics Office, Thematic Data, *Import-Export archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/import-export/>)

#### インド：

- 図1, 図2, 図3, 図4 Reserve Bank of India, Database on India's Economy, Statistics tab (<https://dbie.rbi.org.in/DBIE/dbie.rbi?site=statistics>)
- 図1 2021年第1四半期：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)
- 図3 2021年2月の消費者物価指数：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EBSESN/history>)
- 図4 日本との輸出入：International Monetary Fund, *Direction of Trade Statistics* (<https://data.imf.org/dot>)